

学校教育目標	『自他共に大切にすることを育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』 ○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) ○自分の心と体を見つめ、健康で安全な生活習慣をつくっていく子を育てます。(体) ○まちの人やもの、自然とのかかわりを大切に、共に生きる子を育てます。(公) ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)			
	創立 16 周年	学校長 池田 千穂	副校長 井関 眞澄	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3
学校概要	児童生徒数: 391 人		主な関係校: 若葉台中学校	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	若葉台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
【自分づくりに関する力】	若葉台中学校 若葉台小学校	○自分のよさに気づき、自信をもって生きる子ども ○他者とのつながりに目を向け、認め合うことができる子ども ○基礎的な学力を身に付け、課題解決に主体的に取り組む子ども ・小中学校間の連絡を密に取りながら、地域参画型小中一貫教育カリキュラムを編成し、小中の連携を推進します。 ・小中学校間の交流活動を継続し、よりよい交流体験を検討します。 ・児童生徒の交流とともに、教職員の交流を深め、若葉台の子どもたちの理解に努めます。

中期取組目標	○子どもが自信をもって主体的に行動し、安心して生活できる学校をめざします。 ・わかる、できるを実感できる、楽しい授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるように環境調整に努めます。 ・健康な心身をつくるための生活習慣の形成を推進します。 ・他者を思いやり、他者と関わり、協働することの喜びを感じられる心を育てます。 ・まちとのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きて はたらく知	①児童が、めあてをもち、思考し、振り返る過程を大切にして、児童自身が1時間での成長を実感できるような学習展開を工夫する。②「わかる・できる」を実感することを優先する」という視点を明確にもって授業を見合う。③読書習慣や基礎基本の定着に向けての取組を進める。
徳 豊かな心	①温かい人間関係や自己肯定感を育むために親和的な学級・学年づくりに努める。②たてわり活動などのつながりを意識し、年間を通して意欲的に活動できるようにする。③目指す姿を具現化するために、ねらい→活動→振り返りのスパイラル化を図る。
体 健やかな体	①カリキュラムの意図を把握し、体育科学習の充実を図ると同時に、他教科との関連を図った取り組みを実現することで実践的な活動の場を生み出せるようにする。②健康や食に関するめあてをもち、実態に応じて休み時間の外遊びの奨励、給食指導の充実や改善を図る。③委員会を中心として、休み時間を活用した、運動への関心を高める活動を年間を通して行う。
公開 地域学校協働活動	①登下校の安全パトロールに協力いただくと共に、地域行事への参加や学習を通じた交流など、児童が地域と関わる機会を連携しながら進めていく。②「学校運営」や「学校評価の分析」等をテーマとして運営協議会を開催し、意見を学校運営に活かす。
児童生徒指導	①児童指導に関する考えを全職員で共通理解する。「若小の約束」に関して、児童、保護者と共に確認し、指導の共通化を図る。②担任が全児童と面談を行うことで、児童への理解を深める。③児童理解研修を行う。
教育環境整備	①GIGAスクール構想の推進のために、特別委員会を中心として教職員の研修及び準備等を行う。②ICT機器(拡大投影機、タブレット端末等)を活用して、効果的な授業を行う。③学習の流れがわかるような掲示(学習スタンダードの掲示)を通し、子どもが学習のイメージをもてるようにする。
特別支援教育	①特別支援教室を設置し、組織的に特別支援体制の充実をめざす。②教職員、関係機関、家庭とも連携をはかり、個に応じた合理的配慮に基づいた支援を行う。③個別の支援計画、個別の指導計画を作成し、指導にいかす。
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を定期的に関き、組織的な対応をする。②「いじめアンケート」「全児童との面談」「YPの活用」等、計画的に行い、情報共有を図り、未然防止・早期発見・早期対応につとめる。
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①経験の浅い教員の授業力を高めるために、全教員が定期的にメンターチームや授業研究をサポートする。②全教職員が学校運営に参画している意識を明確にもてるように、学校運営の計画や提案を全職員で行う。③「教材研究」や「児童理解」の時間を確保するために、会議の効率化を進めたり、各行事や児童活動についての効率化も振り返りを生かして計画する。
担当	